

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成24年8月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図2～図6）

24日に第十一管区海上保安本部が上空から実施した観測、及び30日に気象庁地球環境・海洋部が海上から実施した観測で、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来より認められている少量の噴気が確認されました。前回の観測時と比べてその状況に特段の変化は認められませんでした。



図1 硫黄鳥島 火口位置図



図2 硫黄鳥島 硫黄岳火口(左:2012年8月30日 右:2012年5月7日 いずれも島南西側から撮影)

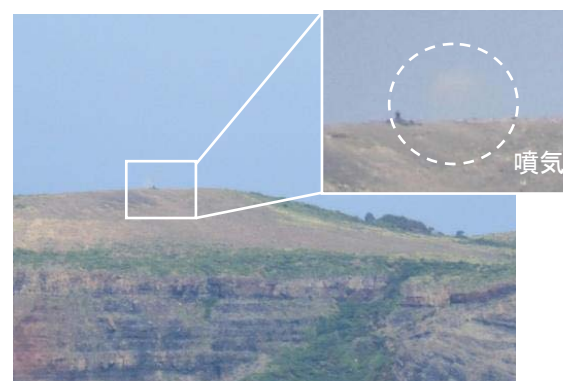


図3 硫黄鳥島 グスク火山火口(左:2012年8月30日 右:2012年5月7日 いずれも島東南東側から撮影)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000分の1地形図』を複製したものです（承認番号：平23情複、第492号）。

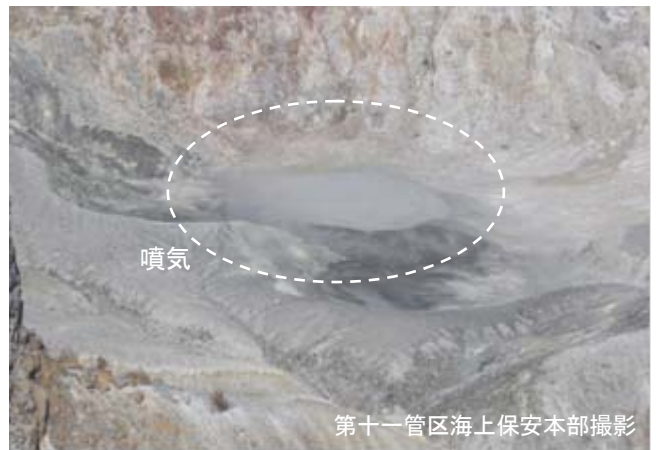


図4 硫黄島 硫黄岳火口

(左:2012年8月24日 硫黄岳火口南東上空から撮影 右:2012年8月24日 硫黄岳火口南西上空から撮影)
(第十一管区海上保安本部提供)

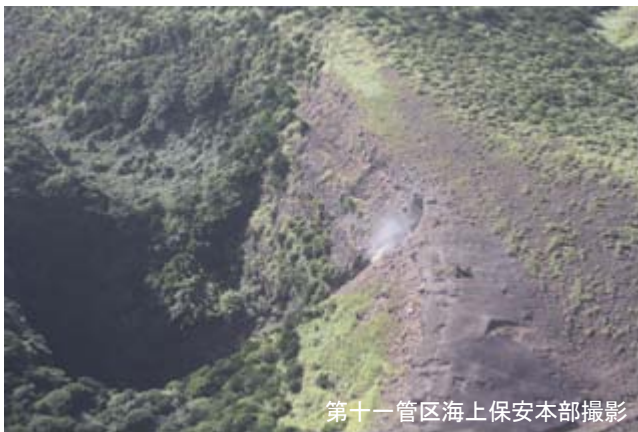


図5 硫黄島 グスク火口

(いずれの写真も2012年8月24日 グスク火口南東上空から撮影)
(第十一管区海上保安本部提供)



図6 硫黄島 南西海岸(硫黄岳火口南西付近の海岸)
(2012年8月24日 硫黄岳火口南西上空から撮影)
(第十一管区海上保安本部提供)